

令和2年度 常盤小学校 自己評価報告書

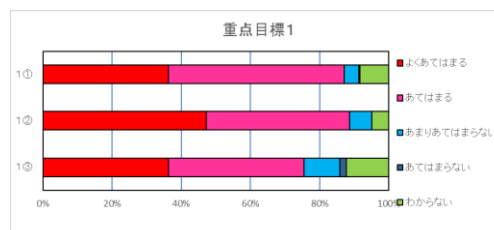
学校名：常盤小学校 所在地：中央区日本橋本石町 4-4-26  
 校長名：永井 勝巳  
 児童数 276名 学級数 10学級 教員数 19名 職員数 18名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標 1

◆確かな学力の向上 「基礎的・基本的な学力と学びの深まりや広がりのある学習の定着」

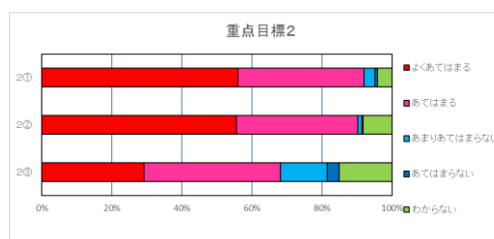
- ① 児童の実態をもとに、授業改善を行っている。
- ② 少人数指導（算数）による基礎・基本が徹底されている。
- ③ 外部（大学・企業・地域等）との連携による授業づくりを行っている。



重点目標 2

◆国際的な小学校へ向けての土台づくり 『和文化と異文化』の理解と調和

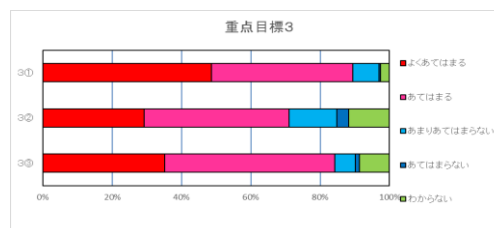
- ① 日本の歴史や伝統文化（特に日本橋）の学習を充実させている。
- ② 「聞く・話す・読む・書く」の英語授業を実践している。
- ③ オリンピック・パラリンピック教育推進校として国際交流を実践している。



重点目標 3

◆豊かな心と体づくり 「心も体も健康で、ねばり強く最後まで取り組む子の育成」

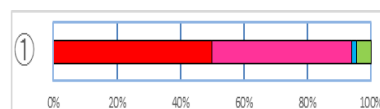
- ① 毎日、明るく元気にあいさつできる習慣が身に付いている。
- ② マイスクールスポーツ（長なわ等）を通して児童の体力を高めている。
- ③ 異学年交流活動等を通して、他者を思いやる心を育てている。



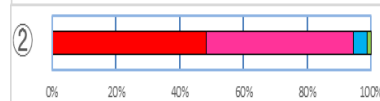
- ・ 少人数指導による基礎・基本の徹底が評価された。今年度行事が少なくなった代わりに算数の習熟度別指導をはじめ、各教科の授業を十分取ることができた。
- ・ 地域や老舗の見学、地域の方、協力企業との連携ができなかったため、重点目標2の評価は昨年より下がった。
- ・ 異学年交流等の活動は、各行事、たてわり班遊び等の活動ができなかったため、評価が低くなった。マイスクールスポーツについても、コロナ対策で運動の内容も制約があるため、評価が低くなった。

## 2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

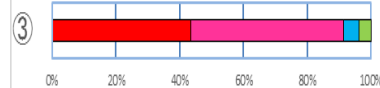
①学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。



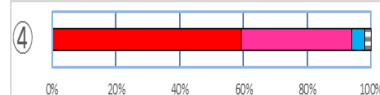
②学校は子どもに基礎学力が身に付くように教えている。



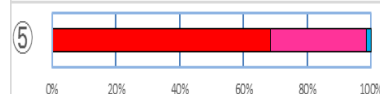
③学校は通知表等を通して児童の学力を適正に評価している。



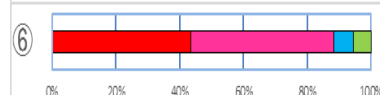
④学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。



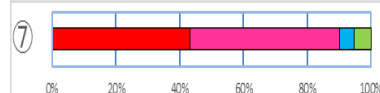
⑤児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。



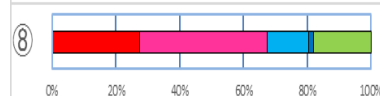
⑥学校は児童の健康・体力の増進に努めている。



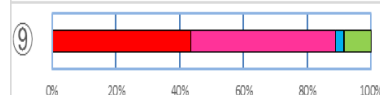
⑦学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。



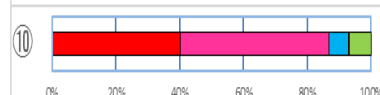
⑧学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。



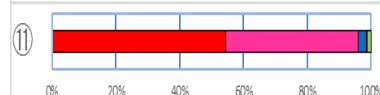
⑨学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。



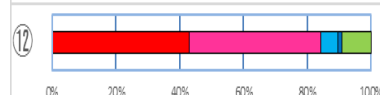
⑩学校は子どもの問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。



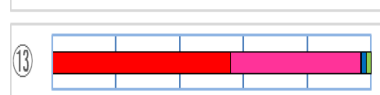
⑪学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。



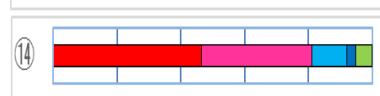
⑫学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。



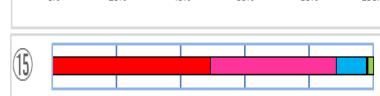
⑬学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。



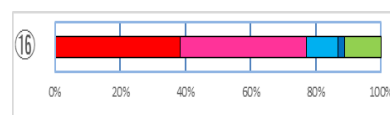
⑭学校は行事や学校公開などを通して児童の生活がわかるようにしている。



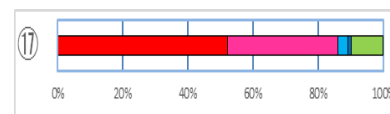
⑮学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすく内容も適切である。



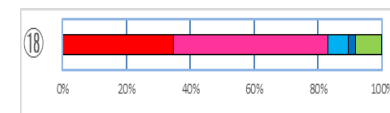
⑩学校はコンピューターや図書室を十分活用している。



⑪学校は地域を生かした教育活動や行事がある。



⑫保護者は学校の教育活動にかかわっている。



- ・「わかりやすく楽しい授業」「基礎学力を付ける」など学習については高い評価であった。一方、奉仕活動などコロナ禍で取り組むことができなかった項目については、昨年より肯定的評価のポイントを下げた。
- ・「児童の安心安全」については、コロナ対応について一定の評価をいただいた。「コンピューターや図書室の利用」については昨年よりポイントが上がった。タブレット端末が導入され、学習での活用ができるようになったことや、保護者会や行事のネットワーク会議アプリによる配信などが理由として挙げられる。
- ・全体的に「分からない」という回答が増えた。これは、学習の様子を観ていただく学校公開が1回だけの開催であったこと、特色ある教育活動、行事の中止が多く、常盤便り、学年便りなどでお知らせすることが減ったことが理由であると考えている。

#### ◆児童のアンケート結果より

コロナ禍でありながら、児童は学校生活を楽しんでおり、健康な身体づくりと豊かな心の醸成に心掛けている。学校行事は宿泊行事をはじめ中止が多い中、学校で達成感・充実感を得ていると考えている。「先生に悩み事など相談しやすいか」については肯定的評価が昨年より減っている。

### 3 今後の改善方策

- ・引き続き、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、少人数指導、個別指導の充実を図る。そのために、来年度一人一台配付されるタブレット端末の活用のための実施計画を作成する。
- ・新生活様式に対応した行事の在り方、本校の特色ある活動の実施方法を検討し、学びの広がりや深まりのある学習になるよう努める。
- ・児童が相談しやすいよう配慮し、児童一人一人が充実した学校生活になるよう努める。